

第174回実践勉強会 実施レポート

共催

ユーシービージャパン株式会

大田区薬剤師会

開催日 令和7年5月23日

参加者 89名

講演Ⅰ 『 てんかんとてんかん重積について 』

東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター

講師 鈴木 銀河 先生

講演Ⅱ 『 新規抗てんかん発作薬への期待 』

昭和大学病院 てんかん診療センター

川内 雄太 先生

Q&A

東邦大学医療センター大森病院 鈴木銀河先生へのご質問

Q、てんかん患者さんに対する服薬指導として、特にお伝えするポイントや、注意点などがありますでしょうか？

A、正確に薬を飲んでもらえるように、投与回数や投与方法などを分かりやすくお伝えする。なるべく投与回数が少なく、シンプルな薬剤を使う。

Q、てんかん重積の患者さんは、自分の症状が分かりずらく、ご家族から症状を聞くなどご家族にもサポートすることが必要かと思います。先生は患者さんのご家族に対して、どのようなサポートをされてい

ますでしょうか？

A、家族へのサポートも大切であり、発作時の対応や、患者さんへの治療の説明など、丁寧お伝えすることを心掛けている。

Q、非痙攣性のもんかん重積と判断するのは絶対的に必要なのでしょうか。時間的に判断が厳しい時ロラゼパム投与などあるのでしょうか？

A、まずは診断をすることが重要。先にもんかん重積と診断してから、ロラゼパム等の治療を行っている。

昭和医科大学病院 川内雄太先生へのご質問

Q、小児患者では抗ヒスタミン薬などで発熱が見られるケースもあるが、発熱に対してはどのようなご対応をされているのでしょうか？

A、熱性けいれんで発熱を伴うこともあり、小児患者については小児の先生とも相談しながら対応方法を考えている。

Q、先生が実際に処方された患者さんでは、レベチラセタムよりもブリーバラセタムの方が効果や副作用の面で優れている印象でしょうか？

A、現在難治例を中心にブリーバラセタムを処方しており、レベチラセタムで効かない患者にも効くケースがあるため、優れている印象。

Q、イーケプラもそうだと思うのですが、ブリービアクトの自殺企図に対する注意の説明は、初回などに説明はされるのでしょうか？

A、ブリービアクトは自殺企図が少ない印象であり、説明するとより分かりずらくなってしまうので、初回に説明はしていない。